

⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-131008

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)9月6日

F 16 B 5/12
A 01 G 9/14
E 04 H 15/64Q-8714-3J
L-6852-2B

8504-2E 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 シートの端部支持装置

⑯ 実 願 昭63-28319

⑰ 出 願 昭63(1988)3月2日

⑱ 考 案 者 多 賀 正

大阪府大阪市淀川区木川東4丁目8番4号 太陽工業株式会社内

⑲ 出 願 人 太陽工業株式会社

大阪府大阪市淀川区木川東4丁目8番4号

⑳ 代 理 人 弁理士 澤田 忠雄

㉑ 実用新案登録請求の範囲

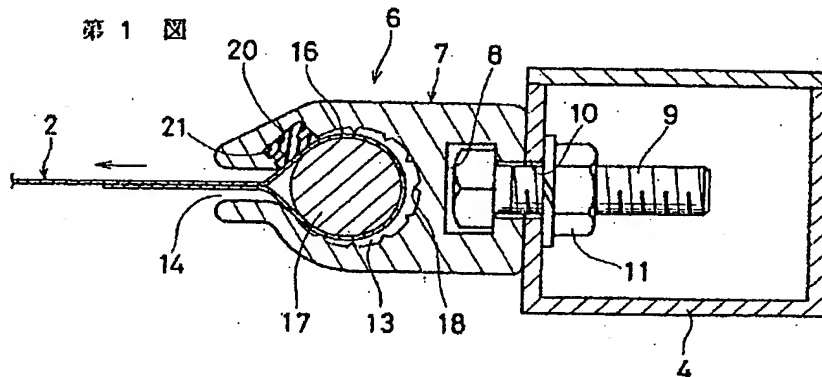
構造物側に長尺の支持体を取り付け、この支持体にその長手方向に延びる掛止孔を形成すると共に、同上支持体に掛止孔の内外を連通させるスリットをこの掛止孔に沿って形成し、一方、上記スリットの幅寸法よりも大きい径寸法を有する棒材にシート端を巻き付け、上記掛止孔の軸方向から棒材と共にシート端を掛止孔に嵌入させると共に、このシート端に沿ったシート自体を上記スリットに嵌入させることによつてシートを構造物側に支持させるシートの端部支持装置において、上記掛止孔の内面におけるスリットの開口縁に、この開口縁に沿って延びる長尺の弾性体を突設した

シートの端部支持装置。

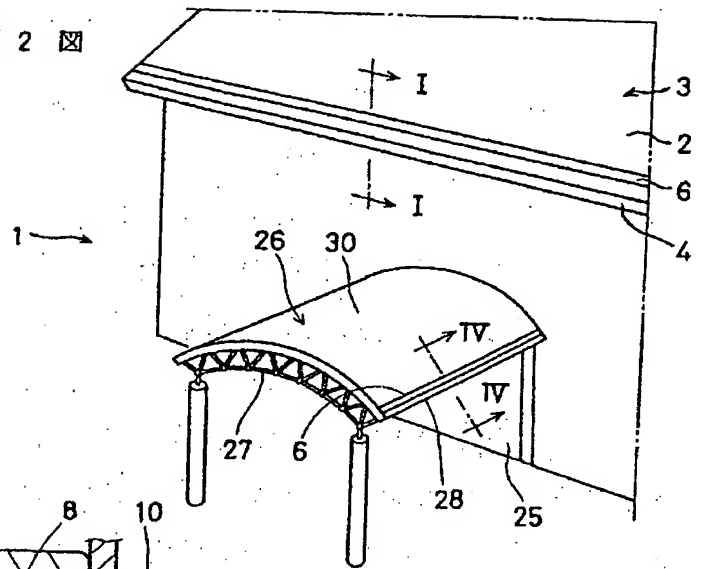
図面の簡単な説明

図はこの考案の実施例を示し、第1図は第2図のI-I線矢視断面図、第2図はテントハウスの部分斜視図、第3図は第1図に相当する図で掛止孔にシート端を嵌入していないときの図、第4図は第2図のIV-IV線矢視断面図である。

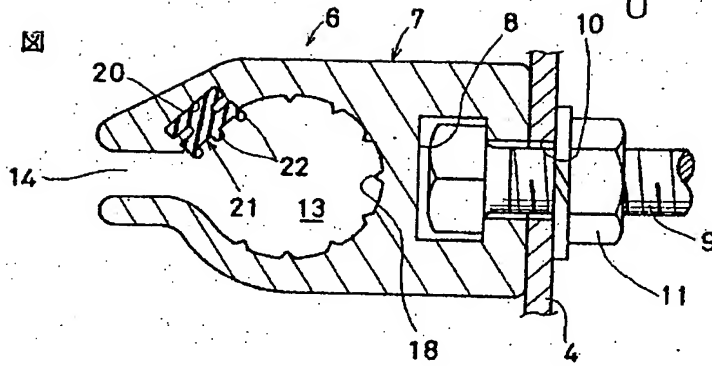
2……シート、4……母屋材(構造物側)、6……シートの端部支持装置、7……支持体、13……掛止孔、14……スリット、16……シート端、17……棒材、21……弾性体、28……母屋材(構造物側)、30……シート。



第 2 図



第 3 図



第 4 図

